



第42回

鉄構塗装技術討論会

開催のご案内

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

協賛

(一社)色材協会 (公社)土木学会 (一社)日本橋梁建設協会
(一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会 (一社)日本鉄鋼協会
(一社)日本塗装技術協会 (一社)日本塗料工業会
(一社)日本防錆技術協会 (一財)日本塗料検査協会
(公社)腐食防食学会 (公財)スガウエザリング技術振興財団



■本討論会は土木学会認定 CPD プログラムです。

[認定番号: 10月24日 JSCE19-0851・10月25日 JSCE19-0852]

平成から令和へと元号が変わり、わが国では新しい時代が幕を開けました。平成が始まった当時とは対照的に、社会全体が慶祝ムードに包まれているようです。しかし、改元によるご祝儀相場によって、わが国の経済にプラスの効果をもたらされるとの向きもある一方で、この秋には消費税率の引き上げが予定されており、景気の先行きは不透明な状況となっています。

全国の道路橋やトンネルなどでは、平成26年に義務化された5年に一度の定期点検が一巡し、本年4月から二巡目に入りました。国土交通省の調べによると、平成29年度までの点検結果累計において、約5万9千箇所の橋梁が「緊急措置段階」「早期措置段階」と判定されたものの、特に地方公共団体管理施設における点検後の修繕着手率は、9～13%と低い水準にとどまっていることが明らかとなり、逼迫する地方財政状況が改めて浮き彫りとなりました。この様な厳しい状況の中で、既存の社会インフラの機能向上や長寿命化を経済的、効率的かつ効果的に達成することのできる技術への期待は高まっており、この観点から、橋梁などの鋼構造物の防食技術が担う役割は今後一層大きくなるものと思われます。

各種の防食技術がある中で、塗装は明治以来の長年にわたって鋼材の防錆防食技術として適用されてきた信頼性を有しており、重要な地位を占めています。最近でもなお、従来よりもさらなる高耐久化、施工効率の改善、環境リスクの低減、労働安全衛生の確保といった様々な方向性で、塗料・塗装技術の改善が精力的に続けられており、この分野のさらなる発展が望まれています。本討論会は、これら塗料・塗装に関連する技術の発表と討論の場として活用されることを期待し、開催するものです。

本討論会では、より広く鋼構造物に携わる方々が積極的に参加いただけるように鋼構造物塗装に関する各種課題を解決するための自由な発表を求めています。次頁の要領にて討論会の発表を募集いたしますので、ふるって応募くださいますようお願いいたします。また、発表の応募とともに、本討論会へ参加いただきますよう関係各位へのご連絡ともども宜しく願いいたします。特別講演として、初日は「東京駅前常盤橋プロジェクト 高さ400m級、立体複合都市の計画(株)三菱地所設計/住谷様」を、2日目には「隅田川の著名橋と防食((一財)首都高速道路技術センター/高木様)」を予定しております。

今年度も本討論会へ多数の御参加をいただきますよう、宜しく願いいたします。

鉄構塗装技術討論会実行委員長：富山 禎仁(鋼構造物塗装小委員会委員長)

開催要領

1. 日 時：2019年10月24日(木)～25日(金)
2. 会 場：自動車会館 2階 大会議室
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-13 (電話) 03-3264-4719
3. 参加費：会員(協賛団体も含む)…10,000円(消費税、発表予稿集代込み)
一般 …13,000円(")
官公庁職員・学生 …10,000円(")

4. 申込方法：下記よりお申込下さい。

URL <https://business.form-mailer.jp/fms/a7731962101180>

QRコード



スマートフォンなどからお申込みされる場合は、
こちらを読み取り、アクセスしてください

(当日発表者、委員会委員は申込方法が異なりますので、別途ご案内致します。)
申込期日は10月11日(金)とします。

※お申込み後の参加取り消しおよび欠席者への受講料払い戻しは致しませんので
ご注意ください(討論会発表予稿集を送付させていただきます)。

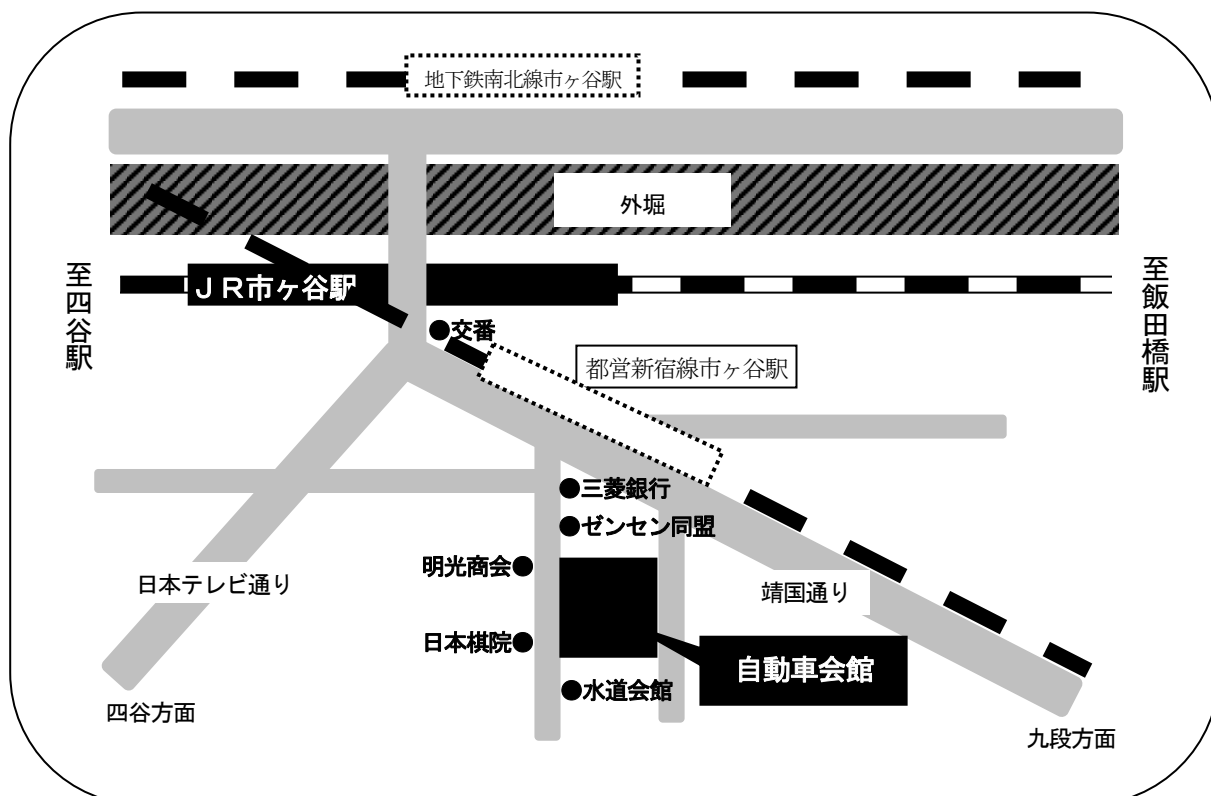
5. 問合せ先：一般社団法人日本鋼構造協会「第42回鉄構塗装技術討論会」係

【E-mail: jssc-paint@jssc.or.jp】

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-8 アミノ酸会館ビル3階

TEL. 03-3516-2151

会場案内図



【第1日】 10月24日（木）

10:00~10:05	開会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 委員長：富山 禎仁（(国研)土木研究所）		
司会：田代 稔（神東塗料株）				
①	10:05 ～ 10:35	異なる樹脂塗膜の30年曝露試験調査	○尾知修平 （AGC株）	高柳敬志（AGC株） 笹原大輔（AGC株） 増田 祥（AGC株）
②	10:35 ～ 11:05	塗膜特性に対する温度と湿度の影響	○鈴木隼人 （(公財)鉄道総合技術研究所）	坂本達朗 （(公財)鉄道総合技術研究所） 鈴木 慧 （(公財)鉄道総合技術研究所）
③	11:05 ～ 11:35	線膨張係数に着目した塗料の新仕様提案	○西森修次 （株四国総合研究所）	大捕秀基（株四国総合研究所） 坂口聡彦（株四国総合研究所）

＜昼 休：11時35分～12時50分＞

特別講演			（司会：富山 禎仁（前掲））	
12:50~13:50	東京駅前常盤橋プロジェクト 高さ400m級、立体複合都市の計画	株式会社三菱地所設計 建築設計四部 兼 常盤橋プロジェクト室 チーフアーキテクト 住谷 覚		

＜休 憩：13時50分～14時05分＞

司会：笹原 大輔（AGC株）				
④	14:05 ～ 14:35	改定 ISO12944 “塗装による鋼構造物の防食” と提案活動	○小川 修 （(一社)日本塗料工業会）	田邊弘往 （(一社)日本塗料工業会）
⑤	14:35 ～ 15:05	透明型防錆キャップの開発	○岩本達志 （株IHI）	秋山好広 （IHI インフラ建設株）

＜休 憩：15時05分～15時20分＞

司会：大庭 哲也（日本ファブテック株）				
⑥	15:20 ～ 15:50	鋼橋に適用された常温金属溶射システムの 劣化要因	○堀田裕貴 （大日本塗料株）	近藤照夫（ものづくり大学） 松野英則（大日本塗料株） 松本剛司（大日本塗料株） 山本幸司（日塗エンジニアリング株）
⑦	15:50 ～ 16:20	耐候性鋼材の塗装による補修方法の検討 -暴露13年後の調査結果-	○藪見尚輝 （大日本塗料株）	富山禎仁（(国研)土木研究所） 太田優輝（関西ペイント株） 小林泰之（中国塗料株） 石川隆士（日本ペイント株） 田代 稔（神東塗料株） 新田弘之（(国研)土木研究所）
⑧	16:20 ～ 16:50	鋼橋防食工の補修方法に関する検討 -補修塗装系の暴露試験10年目結果-	○小林泰之 （中国塗料株）	富山禎仁（(国研)土木研究所） 藪見尚輝（大日本塗料株） 石川隆士（日本ペイント株） 太田優輝（関西ペイント株） 田代 稔（神東塗料株） 新田弘之（(国研)土木研究所）

◆17時00分～19時00分 懇 親 会（場所：2F小会議室）
（会費は、参加費に含まれております。）

【第2日】 10月25日（金）

司会：藤城 正樹（日本ペイント㈱）

⑨	10:00 ～ 10:30	鋼鉄道橋に対する種々の素地調整手法の 作業性評価	○佐藤和久 (西日本旅客鉄道㈱)	大塩清太郎(西日本旅客鉄道㈱) 中山太士(西日本旅客鉄道㈱) 坂本達朗 (公財)鉄道総合技術研究所
⑩	10:30 ～ 11:00	さびの除去手法に関する一考察	○坂本達朗 (公財)鉄道総合技術研究所	鈴木隼人 (公財)鉄道総合技術研究所 鈴木慧 (公財)鉄道総合技術研究所
⑪	11:00 ～ 11:30	鋼橋塗替塗装工事における素地調整グレードの認 識調査について ～既存の規格 Sa2 1/2 を十分理 解しているか～	ブラスト施工技術研究会 品質ワーキンググループ	

＜昼 休：11時30分～12時45分＞

特別講演（司会：坂本 達朗（公財）鉄道総合技術研究所）

12:45～13:45	隅田川の著名橋と防食	（一財）首都高速道路技術センター 上席研究員 高木 千太郎
-------------	------------	----------------------------------

＜休 憩：13時45分～14時00分＞

司会：井合 雄一（㈱IHI インフラシステム）

⑫	14:00 ～ 14:30	送電鉄塔用高耐久塗装システムの検討	○市場幹之 (東京電力 ホールディングス㈱)	宮島拓郎 (東京電力パワーグリッド㈱) 山崎智之 (東京電力パワーグリッド㈱) 北嶋知樹 (東京電力パワーグリッド㈱)
⑬	14:30 ～ 15:00	塗装間隔の短縮による塗膜特性への影響評価	○鈴木慧 (公財)鉄道総合技術研究所	坂本達朗 (公財)鉄道総合技術研究所 鈴木隼人 (公財)鉄道総合技術研究所

＜休 憩：15時00分～15時15分＞

司会：藪見 尚輝（大日本塗料㈱）

⑭	15:15 ～ 15:45	塗膜剥離剤による塗膜除去後の塗装適性の評価 -沖縄暴露10年の結果-	○荻田雄馬 (インパiroワンシステム㈱)	富山禎仁((国研)土木研究所) 臼井 聡 (インパiroワンシステム㈱)
⑮	15:45 ～ 16:15	塗膜剥離工法10年余の歩みーあるコンサルタン トの視点からー	○片脇清士 (合同会社管理技術)	
16:15～16:25	閉会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 幹事長：坂本 達朗（公財）鉄道総合技術研究所		